



## 平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月7日

上場取引所 東

上場会社名 澁澤倉庫株式会社

コード番号 9304 URL <http://www.shibusawa.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 笠原 伸次

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部経理部長

(氏名) 星 正俊

TEL 03-5646-7235

四半期報告書提出予定日 平成24年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	40,844	0.2	2,247	△2.6	1,990	△5.3	982	31.5
23年3月期第3四半期	40,773	12.1	2,306	175.1	2,102	204.6	746	35.7

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 383百万円 (26.7%) 23年3月期第3四半期 302百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	12.92	—
23年3月期第3四半期	9.82	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	85,454	32,113	36.9
23年3月期	87,869	32,190	36.0

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 31,531百万円 23年3月期 31,621百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	3.00	—	3.00	6.00
24年3月期	—	3.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	3.50	6.50

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	53,700	0.9	2,940	1.2	2,530	△2.1	1,470	155.6	19.33

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P.3「2. (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期3Q	76,088,737 株	23年3月期	76,088,737 株
24年3月期3Q	53,130 株	23年3月期	49,998 株
24年3月期3Q	76,037,017 株	23年3月期3Q	76,040,622 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。

なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている連結業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

なお、業績予想の前提となる事項については、添付資料P.3「1. (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(5) セグメント情報等 .....	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、東日本大震災により大きく落ち込んだ後、予想を上回るペースで回復に向かいましたが、秋口以降の海外経済の停滞や円高の影響などにより、景気は減速いたしました。

物流業界においては、震災や円高に加えタイの洪水が荷動きの下押し要因となったほか、不動産賃貸業界においては、賃料相場が緩やかに下落を続けるなど、都市部のオフィスビル市況は厳しい状況で推移しました。

このような事業環境のもと、当社グループは、積極的な営業活動を展開するとともに、中期経営計画「SUCCESS 2012」に沿った事業戦略を進めてまいりました。物流事業においては、国内拠点の統廃合による合理化を進めたほか、ベトナム現地法人が新たにハノイ支店を開設するなど海外ネットワークを拡充してまいりました。また、不動産事業においては、テナント満足度の向上および現有資産の付加価値増加に努めました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の営業収益は前年同期並みの408億4千4百万円となりました。営業利益は、作業費や一般管理費の増加により、前年同期比5千8百万円(2.6%)減の22億4千7百万円となりました。また、経常利益は、資金調達費用の増加などにより、同1億1千1百万円(5.3%)減の19億9千万円、四半期純利益は、投資有価証券評価損の減少や連結子会社における債務免除益の計上などにより、同2億3千5百万円(31.5%)増の9億8千2百万円となりました。

当社グループのセグメントの概況は、次のとおりであります。

#### ① 物流事業

**倉庫業務**は、在庫は高止まりしたものの、回転率が低下した影響で、保管料収入は前年同期を上回ったものの、荷役料が減収となり、営業収益は前年同期比1億1千1百万円(1.6%)減の68億9千4百万円となりました。

**港湾運送業務**は、在来船貨物に係る船内荷役業務が減少したほか、拠点統廃合の影響もあり、営業収益は同1億2百万円(2.5%)減の40億8千7百万円となりました。

**陸上運送業務**は、海上コンテナ輸送をはじめとした輸配送業務が伸長したほか、事務所移転の増加などで引越業務も収益を伸ばし、営業収益は同5億9千8百万円(3.0%)増の206億6千2百万円となりました。

**国際輸送業務**は、輸入航空貨物の取扱いが伸長したことなどにより、営業収益は同3千1百万円(1.1%)増の29億7千5百万円となりました。

この結果、**物流事業全体**の営業収益は前年同期比3億4千2百万円(1.0%)増の357億3千7百万円となりました。営業費用は、貨物取扱いの増加に伴う作業費の増加などにより、同3億8千2百万円(1.1%)増の344億8千1百万円となりました。以上により、営業利益は、前年同期比3千9百万円(3.1%)減の12億5千5百万円となりました。

#### ② 不動産事業

施設改修に伴う賃貸料の減額が解消され増収要因となったものの、電力不足に対応した節電対策が付帯収入の減収要因となるなど、営業収益は前年同期並みの50億8千万円となりました。営業費用は、光熱動力費の減少などにより、同5千8百万円(2.0%)減の27億8千7百万円となりました。以上により、営業利益は、前年同期比6千2百万円(2.8%)増の22億9千3百万円となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### ① 資産、負債、純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、建物及び構築物ならびに土地等の減少等により、前連結会計年度末に比べ24億1千4百万円減少し、854億5千4百万円となりました。

負債につきましては、長期借入金が増加した一方で事業分離に伴い預り金の返還等を行ったことで前連結会計年度末に比べ23億3千6百万円減少し、533億4千1百万円となりました。

また、純資産につきましては、四半期純利益の計上があったものの、その他有価証券評価差額金の減少等により、前連結会計年度末に比べ7千7百万円減少し、321億1千3百万円となりました。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末より0.9ポイント増加し、36.9%となりました。

#### ② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、投資活動によるキャッシュ・フローの減少がありましたが、営業活動および財務活動によるキャッシュ・フローの増加により、全体で1億6百万円の増加となり、現金及び現金同等物の四半期末残高は、83億4千1百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権の増加等があったものの、税金等調整前四半期純利益の計上および減価償却費による資金留保等により18億6千2百万円の増加（前年同四半期比9億4千7百万円の減少）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出および事業整理による支出等があったため、47億8千万円の減少（前年同四半期比39億1千1百万円の減少）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の約定返済および配当金の支払いがあったものの、長期借入による収入があったため、30億3千8百万円の増加（前年同四半期比51億7千9百万円の増加）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間における業績が概ね計画通りに推移しておりますので、平成23年11月4日に公表した通期の連結業績予想を据え置いております。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,540	6,551
受取手形及び取引先未収金	9,084	9,604
有価証券	3,200	3,453
その他	3,555	3,592
貸倒引当金	△13	△20
流動資産合計	22,367	23,182
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	32,241	30,749
土地	19,610	18,870
その他（純額）	2,224	2,231
有形固定資産合計	54,076	51,852
無形固定資産		
投資その他の資産	710	700
投資有価証券	8,603	7,558
その他	2,135	2,200
貸倒引当金	△46	△54
投資その他の資産合計	10,692	9,704
固定資産合計	65,479	62,257
繰延資産	22	14
資産合計	87,869	85,454

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	4,054	4,059
短期借入金	8,579	6,472
未払法人税等	313	657
引当金	695	308
その他	8,126	2,789
流動負債合計	21,769	14,287
固定負債		
社債	7,000	7,000
長期借入金	19,132	24,771
長期預り金	5,056	5,042
退職給付引当金	2,016	2,038
その他	703	201
固定負債合計	33,909	39,053
負債合計	55,678	53,341
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	7,847	7,847
資本剰余金	5,663	5,663
利益剰余金	17,630	18,155
自己株式	△18	△19
株主資本合計	31,122	31,647
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,175	637
為替換算調整勘定	△676	△752
その他の包括利益累計額合計	498	△115
少数株主持分	569	581
純資産合計	32,190	32,113
負債純資産合計	87,869	85,454

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
営業収益		
倉庫保管料	3,600	3,648
倉庫荷役料	3,405	3,246
荷捌料	7,516	7,401
陸上運送料	20,057	20,655
物流施設賃貸料	657	647
不動産賃貸料	4,984	4,990
その他	550	255
営業収益合計	40,773	40,844
営業原価		
作業費	25,804	26,163
賃借料	1,751	1,667
人件費	2,422	2,396
減価償却費	2,013	1,897
その他	4,207	4,123
営業原価合計	36,200	36,249
営業総利益	4,573	4,595
販売費及び一般管理費	2,266	2,347
営業利益	2,306	2,247
営業外収益		
受取利息	13	14
受取配当金	186	191
その他	167	128
営業外収益合計	367	334
営業外費用		
支払利息	455	435
資金調達費用	—	75
その他	116	80
営業外費用合計	571	591
経常利益	2,102	1,990
特別利益		
債務免除益	—	124
特別利益合計	—	124
特別損失		
投資有価証券評価損	575	116
固定資産処分損	199	85
賃貸借契約解約損	40	—
特別損失合計	815	202
税金等調整前四半期純利益	1,286	1,913
法人税等	495	899
少数株主損益調整前四半期純利益	791	1,014
少数株主利益	44	31
四半期純利益	746	982



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	791	1,014
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△342	△541
為替換算調整勘定	△146	△89
その他の包括利益合計	△488	△631
四半期包括利益	302	383
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	280	368
少数株主に係る四半期包括利益	21	14

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,286	1,913
減価償却費	2,118	1,996
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△39	14
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	16	22
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△126	22
災害損失引当金の増減額 (△は減少)	—	△131
受取利息及び受取配当金	△199	△206
支払利息	455	435
投資有価証券売却損益 (△は益)	△12	△0
投資有価証券評価損益 (△は益)	575	116
固定資産売却損益 (△は益)	△3	△9
固定資産除却損	12	42
売上債権の増減額 (△は増加)	△734	△524
仕入債務の増減額 (△は減少)	△431	8
その他	714	△1,009
小計	3,632	2,691
利息及び配当金の受取額	197	203
利息の支払額	△513	△492
法人税等の支払額	△505	△538
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,810	1,862
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△1,919	△1,250
定期預金の払戻による収入	1,833	1,268
有形固定資産の取得による支出	△786	△2,057
有形固定資産の売却による収入	12	252
無形固定資産の取得による支出	△13	△63
投資有価証券の取得による支出	△29	△221
投資有価証券の売却及び償還による収入	21	18
関係会社株式の取得による支出	—	△1
出資金の回収による収入	0	—
貸付けによる支出	△38	△44
貸付金の回収による収入	51	40
事業整理による支出	—	△2,722
投資活動によるキャッシュ・フロー	△868	△4,780
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	13	20
長期借入れによる収入	742	9,045
長期借入金の返済による支出	△2,402	△5,534
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△456	△457
少数株主への配当金の支払額	—	△0
リース債務の返済による支出	△36	△32
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,140	3,038
現金及び現金同等物に係る換算差額	△30	△13
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△230	106
現金及び現金同等物の期首残高	7,381	8,234
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	243	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,394	8,341

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

[セグメント情報]

I 前第3四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年12月31日）

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	物流事業	不動産事業	計				
営業収益							
外部顧客に対する営業収益	35,378	4,984	40,363	410	40,773	—	40,773
セグメント間の内部営業収益又は振替高	15	91	107	0	107	(107)	—
計	35,394	5,076	40,470	410	40,881	(107)	40,773
セグメント利益	1,295	2,230	3,526	12	3,538	(1,232)	2,306

(注1) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ゴルフ場運営の業務であります。

(注2) セグメント利益の調整額△1,232百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(注3) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年12月31日）

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	物流事業	不動産事業	計				
営業収益							
外部顧客に対する営業収益	35,730	4,990	40,720	124	40,844	—	40,844
セグメント間の内部営業収益又は振替高	7	89	96	0	96	(96)	—
計	35,737	5,080	40,817	124	40,941	(96)	40,844
セグメント利益又は損失(△)	1,255	2,293	3,548	△24	3,524	(1,276)	2,247

(注1) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ゴルフ場運営の業務であります。

(注2) セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,276百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(注3) セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

当第3四半期連結累計期間において、ゴルフ場運営の事業を分離したことにより、報告セグメントに含まれない「その他」の資産が1,195百万円減少しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。